



キャプテンのあいさつ

はじめまして。地震工学研究室2022-23年度キャプテンM1の安井です。出身校は舞鶴高専、玉田研究室です。本年度から研究室の新しい試みとして、ニュースレターを4,11月に作成してOBの皆様にお届けすることになりました。OBの皆様においては、池田先生からご活躍をお聞きしております。

さて、現在の日本では今尚新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための生活が続いています。学校生活でも制限がかかっております。しかし「コロナ禍なのでできない。仕方がない。」ではなく、「今の研究室では何ができるか。もっと工夫できる点はないか。」と自ら思考し行動することこそ、研究室で先生が培ってほしい力なのだとは私は考えます。その為にもまずキャプテンの私が先頭に立ち、研究室のみんなで一丸となって、時に楽しく、時に真剣にメリハリをもって目的に取り組んでいきます。今後もこのニュースレターを通して、地震工学研究室の取り組みや学生の様子を発信していきますので、どうぞよろしく願いいたします。それでは、地震研究室の現役学生・OBの皆様の今後の活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



メンバー紹介と研究テーマ

D3
藤 麗敏(Limin TENG)
『Disaster mitigation management system considering local environment characteristics』

D2
渡邊 祥庸
『被災前後の地形オープンデータを用いた北海道胆振東部地震の厚真町における広域斜面の安定性評価』

M2
小野寺 岳
『2019年山形県沖の地震(M6.7)における津波シミュレーション』

蓮岡 大我
『2019年山形県沖地震で被災した小岩川地区の二次元応答解析による詳細評価』

村田 晴希
『2011年東北地方太平洋沖地震における地震動分布特性に関する研究』

PHAM Quoc Du
『Study on observation systems for real-time monitoring of building』

M1
大矢 永遠
『地盤特性に着目した新潟中越地震における武蔵窪地区の地震被害の解明』

木村 宥斗
『内陸型地震における震源のモデル化に関する検討』

安井 宏樹
『地震による建物の被害関数が被害推定に及ぼす影響の分析』

B4
北園 和磨
『2021年・2022年福島・宮城県沖地震で発生したM7クラスの地震波の周波数分析』

佐藤 景也
実務訓練先：日本工営株式会社

モロムジヤムツ ルハグワスレン(エマ)
『モンゴルにおける地震危険度評価に関する基礎的研究』

柳 洸聖
実務訓練先：株式会社オリエンタルコンサルタンツ

Events

長岡花火

新型コロナウイルスの影響により2年連続で中止されていた長岡まつり大花火大会が3年ぶりに開催されました。地震研は8月3日の抽選席を取ることができ、初めて長岡花火に参加するメンバーも楽しみました。しかし当日の予報はまさかの雨。一時は開催も危ぶまれましたが、何とか最後まで無事に行われました(途中何度か降りりましたが…)。河川敷から間近で見る花火、来年も楽しみです。(柳)



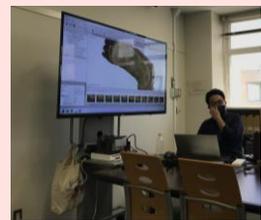
BBQ

9月24日、2022年度の研究室旅行として、与板のビール園にてバーベキューを行いました。蓋付きグリルで焼いたステーキやソーセージ、玉ねぎの丸焼きなどの美味しさにメンバーは舌鼓を打ちました。また、研究室に復帰した村田さんと、9月13日が誕生日のエマさんのお祝いとして、サプライズのケーキが安井新キャプテンから振舞われました。(佐藤)



志賀先生による特別講義

5月27日、東京大学生産技術研究所の志賀正崇先生にお越しいただき、特別講義を行っていただきました。特別講義の内容は、ドローンで撮影した画像データを用いて、地形の3Dモデルを作成するというものです。ドローンの使い方からQGISを用いた勾配モデルの作り方で一連の流れを指導・解説していただき、その利便性を肌で感じることができました。(柳)



旧山古志村現地調査

6月15日に山古志村で現地調査を行いました。山古志村は新潟県中越地震の震源に非常に近く、各地で斜面崩壊や河道閉塞など多くの被害が発生しました。その当時の被害と現在の状況、山古志村の特徴を確認しながら各地を回りました。現在も土地の変形や動かせなくなった当時の車が残っていることなどからこの地震が非常に大きい地震であったことを再確認できました。(大矢)



柏崎刈羽原子力発電所訪問

7月3日に柏崎刈羽原子力発電所を見学させていただきました。敷地内の各施設の見学や私たちの質疑に対して答えて頂き、原子力発電の災害時の対策や役割について理解を深めることが出来ました。見学の際には、原子炉建屋内にも入ることができ、何重ものセキュリティや災害対策を肌で感じることが出来ました。質疑の際は、我が国の電力不足やウクライナ侵攻におけるチェルノブイリ発電所攻撃などの昨今の社会情勢を踏まえた質問にも答えて頂き、教養を深めることが出来ました。(小野寺)



東京大学生産技術研究所訪問

On July 30, 2022, it was an honor to participate in a one-day seminar in the "Kiyota Laboratory" at University of Tokyo. At the seminar, I made a relevant topics presentation and heated discussions were conducted with lab members and teachers. The overall harvest is quite rich, specifically in the consolidation of professional theoretical foundation, the study and cultivation of English scientific research norms, the change of scientific research attitude and the strengthening of independent scientific research quality. At the same time, I also feel a lot of pressure, and need to work harder to enrich myself. Hope that in the near future, I will be able to make scientific research results that are helpful and contributed to professional development. If there is an opportunity, I will participate in more similar academic exchange activities. (Limin)



EELコラム

技大祭の感想:エマ

今年で41回目となる技大祭、私は去年に引き続き2回目の参加となりました。技大祭では留学生による文化紹介の場があり、私はモンゴルの伝統楽器「馬頭琴(ばとうきん)」を演奏し、他のモンゴル人留学生たちもモンゴルの伝統的なダンスや歌などを披露していました。日本人や他の国の留学生にモンゴルの文化を紹介できる貴重な場なので、2週間前からしっかり練習して臨み、本番ではたくさんの人に聴いてもらえて嬉しかったです。去年はコロナの関係で1日だけの開催でしたが今年では2日間行われたので、各教室で開かれるいろんな国の出し物をはじめ、去年以上に多くのイベントを体験できました。中でも特に技大のサークル「PMC(popular music club)」のライブは印象的で、みんなで一緒に盛り上がれて楽しかったです。私は今年で卒業ですが、留学中のいい思い出になりました。



あとがき

秋も深まり、朝、寒さで布団から出れなくなってくると、もうすぐ冬だなあと思います。そしてこの時期になるとB4には、とあるビッグイベントがやって来ます。そう、「実務訓練」です。池田先生から「実務に行くまでに作れ」と半ば気まぐれのように始まったこのニュースレターですが、いかがだったでしょうか。少しでも地震研時代を懐かしんでくれましたら幸いです。今後も続く(であろう)ニュースレターをどうぞよろしくお願いいたします。

☺柳 洸聖☺

研究室としては初めての試みでしたが、個人的には配色や配置などのデザインを考えるのが楽しかったです。次に担当としてニュースレターを作成するときはより良いデザインにできるよう努めます。

☺佐藤景也☺